

4月における水稻の病虫害の発生状況は以下のとおりです。

育苗期病害調査(40地点)は4月20~22日、越冬害虫調査(36地点)は4月5、6日に実施しました。

育苗期病害

○ ばか苗病

・ばか苗病が確認された育苗施設の割合(発生地点率)は34.1%で、平年(36.9%)並の状況でした。平均発病箱率(全調査地点の発病箱率の平均)は0.25%で、平年(0.92%)より低い状況でした(図1)。

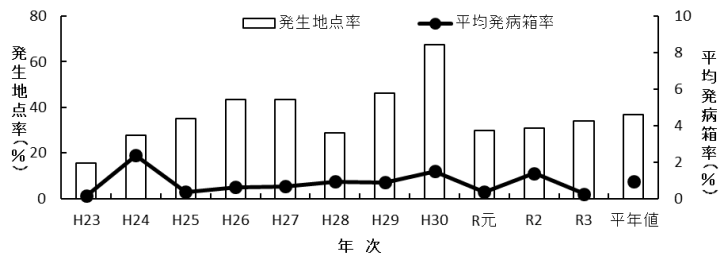


図1 ばか苗病の発生地点率及び平均発病箱率
※平年:過去10か年の平均

○ 苗立枯病及び細菌性苗腐敗症

・苗立枯病は全地点で確認されませんでした(図2)。

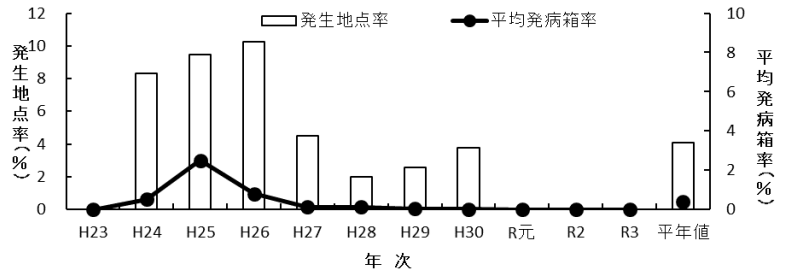


図2 苗立枯病の発生地点率及び平均発病箱率
※平年:過去10か年の平均

・細菌性苗腐敗症は全地点で確認されませんでした(図3)。

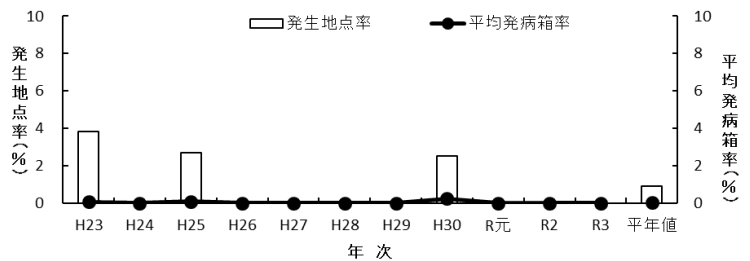


図3 細菌性苗腐敗症の発生地点率及び平均発病箱率
※平年:過去10か年の平均

越冬害虫

○ ツマグロヨコバイ

・水田畦畔のすくい取り調査におけるツマグロヨコバイの発生地点率は 25.0%で 平年 (12.3%)より高く、すくい取り虫数は 4.5 頭で 平年 (1.3 頭)より多い状況でした(図4)。

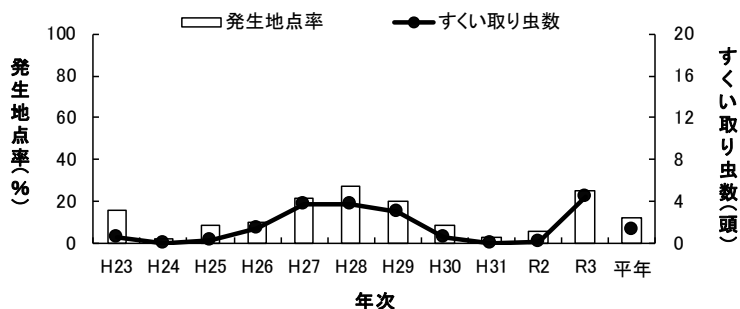


図4 ツマグロヨコバイの発生地点率及びすくい取り虫数
 ※調査方法: 4月上旬畦畔の 20 回振りすくい取り調査
 成虫と幼虫の合計, 平年: 過去 10 か年の平均

○ ヒメトビウンカ

・水田畦畔におけるヒメトビウンカの発生地点率は 61.1%で 平年 (56.4%)並、すくい取り虫数は 13.9 頭で 平年 (6.7 頭)よりやや多い状況でした(図5)。

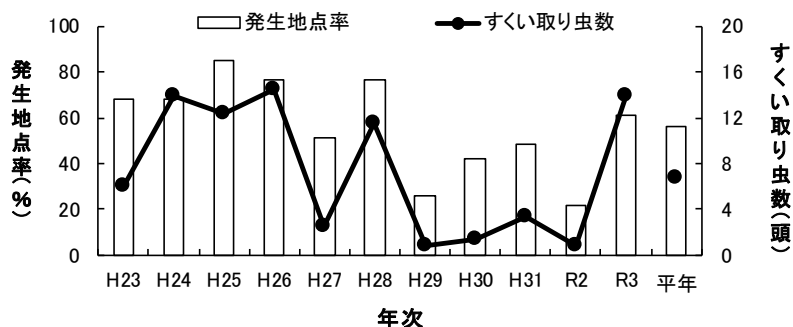


図5 ヒメトビウンカの発生地点率及びすくい取り虫数
 ※調査方法: 4月上旬畦畔の 20 回振りすくい取り調査
 成虫と幼虫の合計, 平年: 過去 10 か年の平均